

C'est jolie.

木頭地区担当地域おこし協力隊・重 陵加(しげりょうか)がみなさまへ送る不定期通信です。C'est jolieは「セ・ジョリ」と読み、フランス語で「それってステキだね」という意味です。木頭や那賀町にあるすてきなもののことをたくさん発見し、すてきな暮らしを紡いでいきたいと思ひます

① しげちゃんのセジョリ物語 その9

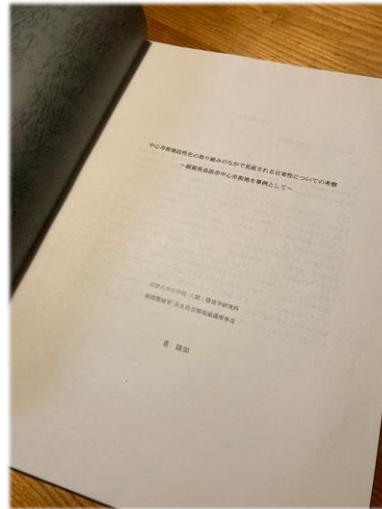
(このコーナーでは私が2003年に木頭を初訪問してから2019年に再訪し2020年協力隊として活動し始めるまでの間の物語をお伝えしています。)

2008~10年の頃のお話です。大学院では最終的に「日常性」についての研究をし修士論文にまとめました。論文を書いている時には博士課程に進む予定をしていたので「続きは博士論文でやります」という先延ばしばかりでとにかく乗り切っていました。ちょうど時を同じくして所属していた「チームそば」(そばを植え食し加工して販売する学生サークル)での活動も一区切りの時期を迎え、前々号で記しましたように手づくり市の主催者の方に発破をかけられた「プロとして活動していく」ということを真剣に考え始め、店舗を下見に行ったりしていました。博士課程に進むのと、実店舗を構えて飲食業も営んでいく…二束わらじという図を一度は描いてみたものの、どちらも大変厳しい世界です。悩んだ挙句、知り合いの方に相談してみると「ラジオ深夜便の山本一力さんの「決める」というバックナンバーを聴いてみなさい」との助言をいただきました。それを聴いて、腹をくくって「決める」ことの大切さを学び、自分の身の周りの流れを改めて見てみて、学問はライフワークで取り組めるが飲食店をやるなら今だということに気づきました。そして博士課程は辞退し、店に挑戦することを決めたのです。(続く)

→いただいた時にはまだ跳ねるのもいた。川との距離が近いことに本当に驚く。見るほどに美しいアメゴ。ぜひ「溪流の女王」の姿も拝んでみたいが、釣り素人には高すぎる望みなのだろう。



→ご近所さんの作られる姿寿司は絶品。作り方を教わって自分でも作れるようになりたい!



←「中心市街地活性化の取り組みのなかで見直される日常性についての考察」という表題でまとめた。読み返すと強引さと穴だらけで恥ずかしい限りだが、当時の私なりにいろいろなことを悩みながらも論考していたのだなと懐かしい。

▷しげちゃん通信バックナンバーはこちらからどうぞ!▷



②私の見つけた木頭のセジョリ

----- アメゴ

今回ご紹介する、私が木頭で「あ、いいな! すてきだな!」と思ったのは、アメゴです。初めてアメゴを食べたのは去年の今頃でした。いただきものに塩をふって焼いただけでしたが、これほどおいしいお魚があるのか!!と驚きうなりました。子どもらも頭からがぶりがぶりと文字通り丸かじりしていました。それからもお寿司や串焼きや唐揚げなど様々な食べ方を体験させていただいています。アメゴのみならず川釣りに対するみなさんの当たり前についても驚きました。解禁日には休みをとって釣りに行く。夕方に家の前でサッと釣ってくる。男性のみならず子どもや女性にもたくさん釣り名人がいる。川がこれほど身近で、暮らしの中に自然と溶け込んでいることに、いつも驚き感動しています。アメゴの名前の由来は「雨後、雨子」雨がちな梅雨や初夏によく釣れるから、あるいは「甘子」身がおいしいから、とのことで、なるほどと思います。川に土砂が堆積し昔の様子とはだいぶ違うそうですが、それでも変わらず毎年この季節を楽しみにされているみなさんに、よそ者の私としましては、本当にすごいなあ、川や釣りや魚を愛しておられるのだなあ、しみじみと思います。

以前店を出していたサーモンマリネを、同じサケ属のお魚ということでアメゴで試してみました。なかなかおいしかったです。裏面にレシピを載せましたのでそちらも併せてぜひご覧ください!

●こんなことがありました

大城集会所改修ニュース「特に動きがありませんでした」

ニュースといえないニュースですが、5月は特に動きがありませんでした。設計や全体の流れをお願いしている京都から協力者の方にGW後に来ていただく予定でしたが、コロナの緊急事態宣言が延長されたことで来れなくなりました。また一方で営業許可関係の法律が一部改正され6月から施行されるとのことで、凶面の最終的な決定がまだできかねており、それも影響しております。今年には完成をと思っておりましたが、協力隊期間中の完成を目指すことに切り替えて、時勢を見つ、じっくりと進めてまいりたいと思います。進捗がなかなか見えずご心配をおかけしていることもあるかと思いますが、引き続き見守っていただけますよう、心よりお願い申し上げます。

ふるさと学習のコーディネーターを させていただくことになりました

木頭学園5・6年生と7年生のふるさと学習をサポートすることになりました。文科省によると総合的な学習では子どもたちが自ら課題を発見・設定し取り組んでいくプロセスを重要視しているそうです。5・6年生は木頭北川字大城地区を中心として「集落」を学ぶという学習内容に、また7年生は放置ユズへの関心からの取り組みになりつつあります。まだゴールの設定が見えない段階ですが、だからこそ私自身も共にワクワクを感じながら、子どもたちの力が逞しく育つようにしっかりサポートしていきたいと思っております。

→地域の方に教えていただいて5・6年生が田植えを体験しました

↓7年生が取り組むことになった放置ユズ



↓時には教室にも立たせていただき…貴重な経験に感謝です



子どもたちの可能性が
きらきらして
すこいんだ！
またお伝えして
いくね！

そばお

ソバが育っています！

木頭折宇で田んぼをお借りし4/27にソバの種を蒔き、3日後には発芽し成長しています。ソバは水に弱いのですが、溝を切ったので今のところ大丈夫そうです。間引き菜はサラダやおひたしとしても食べられます。



↑生で食べるとルチンがよく摂れるそうです。播種後18日目。

柚子の着花調査に参加 させていただきました

木頭地区の果樹研究会さんが毎年行っておられます。ユズについて学びたいので参加しました。大豊作の昨年よりは若干少ないが今年も良く花が付いている、実りも良いだろうとのことでした。



↑蜂がぶんぶん忙しそう。豆粒のような実がすでに見られました。

「アメゴのマリネ」はいかがですか？

- ①アメゴを三枚下ろしにする
- ②身をポリ袋に入れ重量の2%の塩と同じく2%の砂糖を入れ和える
- ③冷蔵庫で半日ほど置く

- ④食べやすい大きさに切り皿に並べ、オリーブ油とコショウをかける

※ハーブで香り付けすると洋風感が増します
※新玉ねぎのスライスやクリームチーズを添えるのもおすすめです



↑今回はディールというハーブを使用しました



●こんなことを予定しています

- ・ソバ畑の草刈、必要に応じて鳥獣害対策
- ・ハウキグサの定植
- ・放置ユズ対策「人サル共生プロジェクト」の調整
- ・大学の地域連携の企画提案
- ・ガレット講習会(驚敷・少人数非公募)
- ・ふるさと学習のサポート など